

JOYO BANK NEWS LETTER

2025 年 4 月 7 日

新事業協創プログラム「Nexus Bridge2024」の選定結果について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、事業領域拡大に向けたオープンイノベーションの取り組みとして昨年 11 月より開催していた新事業協創プログラム「Nexus Bridge2024」において、「脱炭素」「DX」「ライフプラン」「地域活性化」の 4 分野をテーマに協業アイデアを募集しました。今般、応募総数 65 件の中から 4 件の協業アイデアを選定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後、各事業者と連携した新たなサービスや事業の創出に向けて、実証実験や協業に関する具体的な検討等を進めてまいります。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、オープンイノベーションの取り組みを通じて、事業者の成長支援や地域の持続性向上支援といった社会課題解決戦略を推進し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 募集テーマ「脱炭素」での選定

企 業 名	株式会社テックシンカー（所在：東京都品川区）	
協業アイデア	地域の脱炭素加速に向けた地域特化型 GX プラットフォームの構築・運営	
同 社 の 強 み	GX 分野に特化したコンサルティングや GX 促進に関するシステム開発・提供を行っています。また、サプライチェーン全体の CO2 排出量の可視化支援や生成 AI を活用した GX 領域のマーケティング最適化支援等を実施しています。	
協業の方向性	同社の GX コンサルのノウハウと当行グループの GHG 可視化ツールや再エネ事業等の GX 商材やネットワークを活用し、地域の中小企業や自治体等が参画する地域特化型 GX プラットフォームを構築することで、地域中小企業の「GX への理解促進」や「攻めの GX」への転換を促し、地域全体での GX 推進に繋がっていきます。	

企 業 名	eMotion Fleet 株式会社（所在：東京都新宿区）	
協業アイデア	地域の脱炭素化に向けた商用 EV フリート事業	
同 社 の 強 み	商用 EV フリート導入の戦略的設計から効率的な運用管理まで行うワンストップサービスを日本・アジアで展開しています。海外を含めた多様なメーカーの EV を取り扱い、国内電力会社や大手リース会社との業務提携も実施しています。	
協業の方向性	同社の EV 運行管理システムやワンストップ支援のノウハウと、当行のネットワークおよびめぶきリースを含めた総合金融サービスを組み合わせることで、今後、拡大が見込まれる商用 EV フリート市場を取り込むとともに、地域の脱炭素化に貢献していきます。	



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp

2. 募集テーマ「DX」での選定

企 業 名	株式会社スカイディスク（所在:福岡県福岡市）	
協業アイデア	製造業向け AI を活用した生産計画最適化支援サービス	
同 社 の 強 み	AI を活用したクラウド型の生産計画 DX サービス「最適ワークス」を開発・提供し、「どの製品を・何個・いつまでに」という受注情報から生産計画を AI が自動立案し、効率的な業務運営を支援しています。	
協業の方向性	同社サービスと当行グループの IT コンサル機能を組み合わせ、社内データや AI 活用を後押しすることで、多くの製造業で課題となっている「生産管理・生産計画」の支援に踏み込み、生産性向上に貢献していくことを目指します。	

3. 募集テーマ「地域活性化」での選定

企 業 名	株式会社 Will Smart（所在：東京都江東区）	
協業アイデア	交通空白解消に向けた協創型地域モビリティ事業	
同 社 の 強 み	車両データを活用した運行システムや予約システム等の運営面の支援から、顧客のフロントエンド機能となるアプリの提供などモビリティ市場に特化したシステムの開発・提供・コンサルティングを実施しています。	
協業の方向性	高齢化やドライバー不足を背景に社会問題化している「交通空白」に対して、同社のシステム基盤やノウハウの活用と、当行の自治体や地域事業者との連携を通じて、公共ライドシェア等の新たな運行・利用形態の実証実験や社会実装を進め、持続可能性のある地域交通の実現に貢献していくことを目指します。	

以 上